

市民との対話事業 **市長とふれあいトーク**

実施日時	平成 25年 2月 21日 (13:30 ~ 14:30)		
実施場所	高山コミュニティセンター	参加人数	24人
参加対象	高山地区全地区		
市側の出席者	市長 上下水道局主任		
懇談内容	<p>1. 発言者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市長選後の4年間をどのようにしていきたいのか考えを聞きたい。 <p>A. 市長</p> <p>この地域を元気にしなければならないと考えている。東京に行くと十日町市は元気な地域だとよく言われる。地域に自信を持っていただきたい。事業者もこの地域で頑張ろうと、数社が工場の新設・拡張を考えておられる。市でも大きな民間投資に対して5千万円までの補助を行っている。生活面では、市民の負担を下げる努力をしており、子ども医療費や水道料金、保育料も下げさせていただいた。安心できるまちづくりの一つである十日町病院建設問題についても、計画が決定された。休日診療についても今年の4月から川西国保診療所に対応することになった。</p> <p>2. 発言者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十日町市は何をアピールしたいのか、力を入れているというものを示してほしい。 <p>A. 市長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の大地の芸術祭で、下条駅に恒久作品を作成した。中条駅は縄文でアピールしたい。駅名も変えたいとの地域住民の声も上がってきている。十日町市には、石彫や芸術祭などアピールしたいものが非常に多くある中で、十日町駅周辺をどのようにしていくのか検討が必要で、現在中心市街地活性化とともに検討している。芸術祭を中心とした街づくりをしていきたいと考えている。 <p>3. 発言者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化会館の建設について、建設にあたり市税ではなく、中央からの資金調達をお願いしたい。 <p>A. 市長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、十日町小学校を建設中だが市の持ち出しはほとんどない。文化会館の建設にあたっては中心市街地活性化の計画を策定中で、計画に沿った事業で国からの支援や有利な借入れがある。文化会館建設後の利用形態についてどのようにすればよいか悩んだが、外部から有識者を招へい 		

してアイデアをまとめた。外から多くのお客を呼ぶような施設にはできないと考えている。出来る限り経費を抑えた中で運営をしていきたいと考えている。

4. 発言者

- ・町内の道路除雪について、現在病院の敷地を一時的に雪押し場として利用させてもらっているが、病院建設中はどうすればいいのか対応していただきたい。

A. 市長

- ・深井戸を掘るには規制があったが昨年緩和した。消雪パイプでの対応が必要と考える。田川町や市役所前道路などと一緒に導入できないか検討させていただく。